

町民のみなさまへ

草津町長 黒岩 信 忠

16年間の軌跡を広報しておりますが、誘客対策のまちづくりには莫大な資金を投じてきました。これには国からの補助金、交付税の対象事業となる知恵を使いました。

私は、行政にもビジネスの考えが必要として、投資をしなければリターンはない。月並みのことなら誰でもできる。草津温泉の魅力が「SNS」等で発信される、「絵になるクラシックな街づくり」を進めてきました。その評価と結果は必ず後からついてくる、その想いで取り組みました。紛れもなく入り込み客数400万人の原動力になったと確信しております。

第一、【草津温泉観光協会への宣伝・誘客事業委託費】

- ① 観光協会には毎年宣伝委託費を出していますが、黒岩が町長に就任する以前は、年額5千500万円でした。就任した平成22年度は、プレ・DCキャンペーンの対応で1億1千104万円を観光協会へ、平成23年度は宣伝委託費及びDCと合わせて1億2千60万円を拠出しております。
- ② その後は7千万円～7千200万円で推移しましたが、令和元年度はプレ・DCと宣伝委託費9千100万円、令和2年度9千350万円となり、ほぼ同額で令和5年度まで推移しております。令和6年度は少し下がり8千350万円になります。
- ③ 熱乃湯・湯もみショーの売り上げは、熱乃湯建て替え以前、各年平均で6千856万円でしたが、令和6年度の売り上げは2億2千930万円にもなります。観光協会の財務は劇的に改善され裕福な会計となっています。
- ④ 平成22年度以前、熱乃湯収益会計6千356万円＋町補助公益会計5千500万円＝1億1千856万円でした。
- ⑤ 令和6年度、収益会計2億2千356万円＋公益会計8千352万円＝3億708万円になり、平成22年度以前の2.59倍の予算に拡大しています。
- ⑥ 草津町は、宣伝委託費として公益会計へ8千352万円を拠出しながら熱乃湯の指定管理料（家賃）3千万円を受け入れています。
- ⑦ 平成22年度～令和7年度まで観光協会へ委託補助金で拠出した総額は13億6千100万円になります。これには熱乃湯の売り上げは含まれていません。

第二、【草津町商工会への補助金】

- ① 商工会への補助金は平成22年度700万円でしたが、平成29年度から900万円に引き上げました。ここに観光宣伝誘客事業費として別途補助金をつけております。
- ② 飲食店組合長から、湯畑の景色は素晴らしいが季節感がないとして、湯畑ツリーイルミネーションの提案があり、毎年実施しております。季節を感じる風物詩としてお客様が楽しみにしていると思います。また国の補助事業になりますが、「かまくらいと」も同様です。

- ③ 補助金は平成２２年度から令和７年度の合計は１億３千万円になります。ここに観光宣伝委託費として１億２千８００万円が足され、総額２億５千８００万円になります。

第三、【草津温泉旅館共同組合への補助金（誘客事業）】

- ① 草津温泉の地図（草津こみち）を作成し、配布している事業です。
② 平成２２年度～令和７年度までの合計は約４千万円です。

第四、【ライブカメラ（草津町公式 YouTube チャンネル）設置事業】

- ① いま草津町には YouTube で配信しているライブカメラが２０台あります。平成２９年度に湯畑熱乃湯移動式と湯畑湯滝前ライブカメラを３８７万円の予算で設置をしました。本白根山の噴火により、白根山および本白根山に監視用ライブカメラ３台の設置費２千３７５万円になります。
② 湯畑、西の河原、裏草津地蔵、温泉門、天狗山等のＰＲに絶大な効果をもたらす観光用ライブカメラ、また道路の混雑状況と駐車場の空き情報が見られるライブカメラの設置をしました。予算には光ファイバーを引き込む工事費が含まれます。
③ 平成２９年度～令和７年度の合計は、６千５６７万円になります。なお、ライブカメラへのアクセス数は１億回を超えています。

第五、【観光対策・イベントキャンペーン】

- ① 平成２３年度より町として行った事業です。４か国語対応観光ＤＶＤ作成３２０万円、入り込み実態調査５６４万円、入り込みシステムＰＣ・ソフトウェア更新４０７万円など、令和６年度までに合計２千８００万円になります。
② コロナ禍、国の補助事業として実施した、高速バス・ラッピング広告事業２千２７０万円、草津温泉まち歩き共通クーポン事業（令和３年度～令和４年度）６億９千５００万円となります。
③ 合計で７億５千１００万円になります。

第六【海外姉妹都市交流事業】

- ① ドイツ、ビーティヒ・ハイム・ビッシンゲン市、チェコ、カルロヴィ・ヴァリ市との姉妹交流事業です。ビッシンゲン市とは６３年、カルロヴィ・ヴァリ市とは３３年にわたり交流が続いています。平成２４年度～令和５年で、合計２千３００万円になります。

第七、【観光関連施設（グラウンド、公園、ホール等）整備事業】

- ① 毎年、草津温泉サッカーフェスティバルが行われていますが、平成２３年度にはサッカーグラウンドの人工芝化を１億２千９５０万円で行いました。平成２９年度には本白根５・６グラウンド、トイレ工事を４千１４０万円で行いました。
② 令和４年度～令和７年度で権利関係が複雑化をしている第１グラウンドの解決をはかるため、その土地を町が３千３５０万円で購入しました。
③ 公園事業として、囲山公園グラウンド芝張り工事や、頌徳公園橋補強・塗装工事等で、９５０万円になります。音楽の森コンサートホール事業は、施設修繕工事、分電盤取り替え

工事等で2千40万円になります。

④ 平成23年度～令和7年度の合計で2億3千700万円になります。

第八、【観光振興（千客万来事業）関連】

※「その1、ロープウェイ・ゴンドラ改良工事及び保存工事費について」

- ① ロープウェイ・ゴンドラの改良工事は莫大な資金を投じてきました。平成22年の就任時、前副町長から「殺生より上のスキー場は閉鎖してください。」と進言されました。草津白根火山ゴンドラは維持管理費がかかり過ぎて、赤字が拡大している説明を受けました。
- ② しかし、ゴンドラを止めるわけにはいかない。なんとしてもやり続けると判断、まず真っ赤に錆びていたゴンドラの支柱を1千100万円かけて塗装をしました。
- ③ 次に、緊張ユニット更新1千270万円、握索機更新1億480万円、ワイヤー交換3千120万円、主減速機更新7千990万円等、この他にも多額な改良費をかけてきました。
- ④ しかし平成30年1月23日、1500年ぶりとされる本白根山の噴火により、白根火山ゴンドラ、振子沢コース、清水沢コース、そして3本のリフトを失うことになり、なぜ「天は我に試練を与えるのか」との思いでした。
- ⑤ 16年間の任期が半年で終わろうとしています、幾度となく「なぜ」の言葉が出るほど、試練の連続でした。しかし、どのような状況でも進化を止める訳にはいかない、残されたメインゲレンデ、天狗山に集中投資を行うと、頭の切り替えをしました。
- ⑥ 令和5年度にはパルスゴンドラを7億2千300万円で完成させました。一般のゴンドラは建設費、維持費が高額になりますが、パルスゴンドラは、建設費と維持費が抑えられるメリットがあります。
- ⑦ 反面、パルスゴンドラはシステムが違い長距離には向きませんが、天狗山ゲレンデにピッタリのゴンドラです。注目を集め全国から視察がきています。また、いま建設すると5～6割増の建設費になるようです。時を得た判断だったと思います。
- ⑧ 改良工事費と保存工事費を合わせると、合計12億500万円になります。

※「その2、スキー場リフト改良工事費及び保存工事費」

- ① 平成22年度、殺生クワッドリフト握索機更新4千200万円。平成25年度、天狗山クワッドリフト握索機更新3千906万円。天狗山Tパラリフト3千147万円など、24の項目にわたり改良工事を行いました。
- ② 保存工事として、平成22年度、殺生クワッドリフト原動機オーバーホール2千344万円。平成25年度、天狗山、殺生クワッドリフト整備工事4千496万円。平成29年度、本白根第2リフト、天狗山Tパラリフト塗装1千468万円になります。
- ③ 令和元年度、天狗クワッドリフト・オーバーホール1千331万円。令和4年度、殺生クワッドリフト握索機オーバーホール1千199万円など、53項目の工事を行いました。
- ④ 平成22年度からの改良工事、保存工事の合計は5億5千600万円になります

※「その3、スキー場管理施設」

- ① 平成22年度、雪上車・人工降雪機整備1千851万円。平成23年度、人工降雪施設配管延長1千124万円。平成25年度、御成山ゲレンデ盛土整備工事4千341万円。平

成26年度、天狗山ジャンプ台跡地整備工事4千556万円。平成26年度～27年度、人工降雪機更新2千378万円。平成29年度、人工降雪機1千188万円。令和元年度、ナイター照明幹線改修工事2千650万円等になります。

② 平成22年度以降、44ヶ所の工事費合計は3億8千800万円になります。

※「その4、スキー場営業施設改良工事及び保存工事」

① 平成23年度、天狗山レストハウス暖房機器更新420万円。平成24年度、天狗レストランカーペット張り替え2千397万円。平成29年度、天狗レストハウスB棟1階改修工事3千402万円。平成30年度、天狗山ジップライン建設工事1億4千737万円。

② 令和5年度、天狗山頂展望レストラン・クリスタル天1億7千893万円。令和6年度、天狗レストハウス建て替え分割2号、2億5千195万円。令和6年度、天狗レストハウス建て替え工事分割3号、2億9千96万円等になります。

③ 平成22年以降、42ヶ所の工事費合計は12億5千400万円になります。

※「その5、大滝乃湯、西の河原露天風呂」

① 平成23年度、大滝乃湯リニューアル工事2億9千390万円。平成26年度、西の河原露天風呂リニューアル工事1億2千896万円になりますが、毎年両施設ともメンテナンス工事をしております。40ヶ所の工事費合計は6億6千800万円になります。

※「その6、運動茶屋公園・道の駅その他」

① 平成25年度、白根レストハウス屋根葺き替え工事1千785万円。平成27年度～28年度、道の駅舗装用レンガ舗装地改修1千294万円。平成28年度、道の駅特産品ショップ屋根改修工事1千89万円等、13ヶ所の工事費は合計5千900万円になります。

※ 平成22年度～令和7年度、観光振興に係る「千客万来事業会計」の総合計は41億2千500万円になります。

大投資の連続でしたが、仕事をしながら借金を減らし、基金・預金を増やしてきました。私が得意とする財政運営です。

第九、【財産管理・土地購入関連】

① 平成24年度、旧相京旅館購入1千850万円。平成28年度、旧小林旅館購入570万円。平成28年度、旧坂田スタンド購入3千573万円。令和元年度、すずらん官舎跡地購入1千265万円。令和3年度、旧群大病院跡地購入4千352万円。

② 令和4年度、西殿塚ペンション通り前土地購入2千万円。令和4年度、西の河原駐車場購入1億3千50万円になりますが、総面積は46,707㎡(14,153坪)となります。購入理由として、国外からの買収を阻止するため、立体交差関連の土地買収、自然環境を守るためなど、必要に応じて購入しました。30ヶ所の土地購入費として3億2千400万円になります。

③ この他、令和4年度、旧六合村牧野組合より楽泉園隣接土地155,610㎡(47,069坪)を寄付していただきました。組合の皆様にお礼を申し上げます。